

患者さんへ

研究課題「H12（積層型）ダイアライザーへの変更前後における栄養・炎症指標の経時変化に関する後ろ向き観察研究」

この研究は通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は国が定めた指針に従い、対象となる患者様お一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む、研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会・論文等で発表される可能性があります。その際も個人情報を特定できる情報は公開されません。

1. 研究の目的

維持血液透析患者において、ダイアライザーを H12（積層型）へ変更した前後で、栄養状態や炎症状態を示す検査値（例：血清コリンエステラーゼ（ChE）、アルブミン（Alb）、nPCR、CRP、Kt/V、ドライウェイト等）がどのように変化するかを、診療録情報を用いて後ろ向きに解析します。本研究は診療の質改善および透析治療の最適化に資する知見を得ることを目的とします。

2. 研究の方法

研究の対象：2025 年 4 月～2027 年 3 月の期間に、宇治徳洲会病院で維持血液透析を受け、ダイアライザーを H12 へ変更した患者さんを対象とします。本研究では、通常診療で取得された情報のみを用い、追加の検査や受診をお願いすることはありません。

研究に用いる情報：

- 年齢、性別、透析歴、原疾患
- 透析条件（透析時間、血流量等）
- 検査データ：ChE、Alb、nPCR、GNRI、CRP、Kt/V
- 体重関連：ドライウェイト（DW）、透析前後体重 等
- 併存疾患・入院歴等

研究実施期間：当院院長の実施許可日から 2029 年 3 月 31 日まで

3. 個人情報の保護

取得した情報は、研究用 ID を付して匿名化し、個人を直接特定できる情報（氏名、住所、電話番号、患者 ID 等）を解析データから除外します。対応表は厳重に保管します。研究成果は学会・論文等で公表しますが、個人が特定されることはありません。

研究への参加を希望されない場合

本研究において、ご自身の診療情報を研究に利用されることを望まれない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。ご連絡いただいた場合、可能な範囲で研究に使用しないよ

う対応します。なお、すでに解析が終了している場合など、データの完全な削除が困難なことがあります。

4. この研究によってあなたにもたらされる利益・不利益

今回の研究によりすぐに直接的な利益がもたらされるわけでは有りませんが、今後透析患者のダイヤライザーを決定・変更するうえで、より有用な指標として当研究成果が反映される可能性があります。カルテ等からの情報収集のみであるため、患者様に不利益はありません。

5. 研究資金源および利益相反について

この研究に関する資金提供はありません。また本研究に関わる研究者に開示すべき利益相反はありません。

【問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

研究責任者： 宇治徳洲会病院 腎臓内科 中田紘介

住所： 〒611-0041 京都府宇治市槇島石橋 145 番

電話： 0774-20-1111（代表）（受付時間：9時から17時まで）

2026年5月11日作成（第1.0版）